

第2回 次世代女性リーダー候補育成講座 (中部WIN) 開催報告

主催：中部経済産業局

開催日時：平成30年 6月 14日 (木) 13:00~17:15

開催場所：中部経済産業局 会議室

プログラム

<第1部>

13:00~14:15 講義1「国際業務について」

経済産業省中部経済産業局 局長 富吉 賢一 氏

企業の海外ビジネスにおける方向性や問題点の他、外交・通商戦略や公的機関の支援について、ご自身の国際業務経験に基づきお話しされました。また、質疑応答では海外進出に関する問題点や日本の外交交渉に質問が及びました。



<第2部>

14:30~15:15 グループワーク

テーマ及びサブテーマに基づき課題設定等の検討を実施しました。



<第3部>

15:15~15:45 女性管理職・女性リーダーのミニ講演

株式会社デンソー 人事部人事戦略室 人材活躍推進課長 谷澤 有華 氏



新しい仕事を覚えるため、家事や育児を終えてから猛勉強されたとのことで、参加者が熱心に聞き入っていました。管理職としての責任や魅力、日常で心掛けていること、女性の良さ等をお話しされました。

<第4部>

16:00~17:15 講義2「第4次産業革命と人材・働き方改革」

経済産業省大臣官房審議官（経済産業政策局担当） 中石 斉孝 氏

人口減少化の中、日本は崖っぷちに立っているが、第4次産業革命によって社会的課題を解決できれば、むしろ新たなビジネスを生み出すことができる。人材を活かすには多様性が大事で、リカレント（学び直し）や雇用システムの変容、想定外と板挟みを生き抜くための教育改革が進みつつあることをお話しされました。

また、質疑応答では企業にとってのリカレントの意味、人工知能と雇用の関係、女性管理職へのメッセージなどの質問がありました。



感想等(Bグループ)

- 企業の海外進出に当たっての国際機関の活用や、政府の成長戦略について理解を深めることができました。
- 現場力の大切さに共感し、組織の成長のためにはさらに俯瞰力、チーム構築力が必要だと教えて頂いたので、意識して取り組みたいです。
- グローバル競争の中でいかに勝ち抜き、生き残っていくのかを国レベルで考えなければいけない時期になったのだと実感しました。
- 人材育成のお話は、活用あるいは雇用される企業人としての立場はもちろん、子育てを担う母親目線でもたくさんの発見がありました。
- グループワークを通じ、立案した政策が単なる提言に留まらないよう、価値やバリューチェーン、お金の流れ（キャッシュフロー）を想定し、検証していくことが如何に大切か考えさせられました。

